

次世代創薬シーズの探索



薬学研究院
(創薬探索センター)

あさい あきら さわだ じゅんいち
浅井 章良、澤田 潤一、
お ころ な お ひ さ む ら か み ひ さ し
小郷 尚久、村上 央

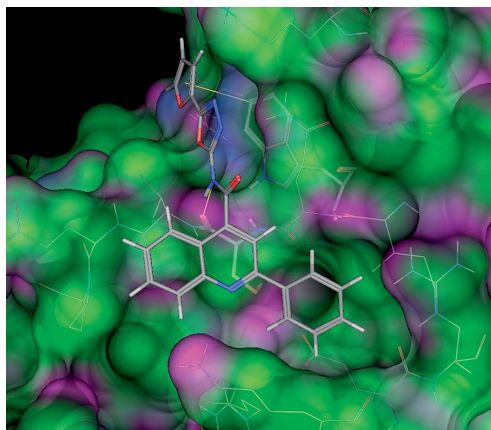
● 連絡先 TEL: 054-264-5231
E-Mail: aasai@u-shizuoka-ken.ac.jp
● ホームページ <https://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/tansaku/>

キーワード

創薬科学、インシリコ創薬、スクリーニング、メディスナル・ケミストリー、シグナル伝達、腫瘍免疫、薬効薬理、MOA 解析



現代の創薬では、従来の低分子、タンパク質に加えて、核酸、遺伝子、細胞など新たな創薬モダリティが開発され、従来の低分子薬では治療が困難とされてきた疾患に対するアプローチも可能となりました。そのため初期探索から開発までの創薬プロセスが大きく変化している時代にあります。一方、各種オミックス解析技術やイメージング技術の進歩により疾患の分子レベルでの理解が可能となり、さらにインシリコ技術やディープラーニング手法の普及により手探り型創薬から合理性追求型創薬へと進化しています。このような時代を背景に、疾患特有のアキレス腱をターゲットとした合理的かつ効果的な創薬コンセプトによる画期的新薬が次々に登場しています。創薬探索センターでは、医薬品シーズの探索研究及び探索技術の開発を通して、生命科学の発展及び医薬品産業の活性化に寄与することを目的とした研究活動を行っています。バーチャル/ウェットスクリーニングの融合やインシリコ創薬による化合物デザインなど最先端技術を駆使して、がんのシグナル伝達や腫瘍免疫に作用する新規な医薬候補物質の探索研究を行っています。また従来型の低分子薬の利点を活かしたターゲット横断的/モダリティ横断的な複合的機能性分子の創製にも注力しています。有効な医薬品のない疾患に苦しむ患者さんの HOPE & HELP を目指します。



アピールポイント

2004 年開設以降の登録特許件数は、国内登録 11 件、うち外国特許 3 件（欧・米・アジア各国など）であり、製薬企業で経験を積んだ研究者陣による様々なステージでの共同・受託研究が可能です。